

8/23
赤旗

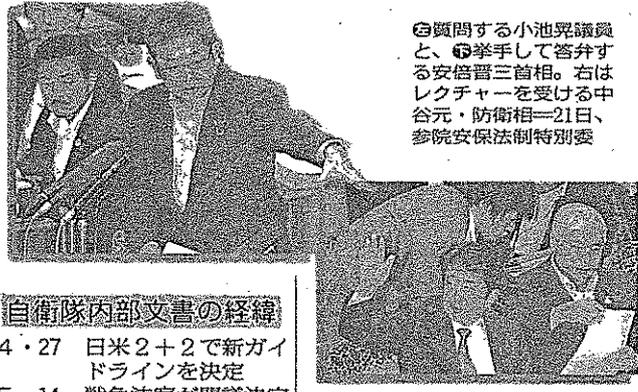
首相・防衛相 正当化は成り立たない

自衛隊・統幕内部文書

「資料の内容は私の ました。指示の範囲内であり、中谷氏の説明によれば、文民統制上も問題はな ば、戦争法案が閣議決 いた。中谷元・防衛相 定された翌日の5月15 は19日、内部文書につ 日、「法案の内容につ いて、こう強弁しまし いて一層分析、研究に た。安倍晋三首相も21 努めることも、隊員 日、この見解を遠慮し に対しての周知を行っ

戦争法案の「8月成立・来年月施行」を前提に、自衛隊の詳細な運用計画を検討していた自衛隊統合幕僚監部の内部文書。日本共産党の小池晃議員が11日の参院安保法制特別委員会で暴露し、「重大な国会軽視」「軍部の独走」などといった批判が広がりました。ところが、安倍政権は「何が悪いのか」と聞き直っています。以下、質疑はすべて参院安保特でのもの

「指示の範囲内」「内容に問題ない」というが… 国会に説明ないものばかり



④質問する小池晃議員と、⑤挙手して答弁する安倍晋三首相。右はレクチャーを受ける中谷元・防衛相—21日、参院安保法制特別委

よ「指示。」「私(中谷)で」統幕が作成し、同氏の指示を踏まえ 26日に防衛省内部部局

自衛隊内部文書の経緯

- 4・27 日米2+2で新ガイドラインを決定
- 5・14 戦争法案が閣議決定
- 5・15 中谷防衛相が法案の研究・周知を指示
- 下旬 統合幕僚監部が文書を作成
- 26 防衛省のヒデオ会議で統幕が文書を説明
- 8・11 衆院で法案審議入り
- 18 小池晃議員が参院安保特で文書を暴露
- 18 審議が中断・散会
- 19 防衛省が参院安保特に文書を提出
- 19 中谷防衛相が参院安保特で弁明
- 21 安倍首相が参院安保特で文書は「問題ない」と強弁

や自衛隊の主要指揮官が出席したヒデオ会議で資料の内容を説明したといえます(表)。第一であり、法案成立の検討とほわわがう(小池氏)のです。この説明には、後に検討を始めるもの「だ」という中谷氏自身の答弁(11日)と明らかに矛盾します。

「国会無視は明白」
この点を突かれた中谷氏は「一般的に、政府は政省令の検討などは、戦争法案の成立を前提とした「主要検討事項」を列挙。単なる「分析・研究」を超えた具体的な計画が記述されており、国会無視すむ問題ではありませ

「分析・研究」
まず、「分析・研究」というものの、文書には、戦争法案の成立を前提とした「主要検討事項」を列挙。単なる「分析・研究」を超えた具体的な計画が記述されており、国会無視すむ問題ではありませ

「文民統制上も問題がない」といいます
中谷氏はこの内部文書について、小池氏が8月11日に暴露するまで、自らの「指示」以降、3カ月近く、読んでいなかったと答弁しています。(19日)

「軍部丸投げ」
「文民統制上も問題がない」といいます
中谷氏はこの内部文書について、小池氏が8月11日に暴露するまで、自らの「指示」以降、3カ月近く、読んでいなかったと答弁しています。(19日)

「内容は重大」
「内部文書の内容に問題はない。首相(ガイドライン)に相対して、米軍・自衛隊の指揮系統の中枢になる「同盟調整メカニズム」(ACM)の中に、

重大なのは、戦争法案と一体で具体化が進む日米軍事協力の指針(ガイドライン)に關連して、米軍・自衛隊の指揮系統の中枢になる「同盟調整メカニズム」(ACM)の中に、小池氏が取り上げた「軍部間の調整所」を設けることが初めて記されています。①南シナ海への軍事的関与②来年月3月から、南スーダンPKO(国連平和維持活動)派遣部隊が一服便官的な表現であり、問題があるとは考えていない」と強弁。憲法違反の実力組織を「軍」と呼ぶことを当然視しました。(21日)